



おお き だち
大 樹 立



函南町教育委員会 生涯学習課
〒419-0122 函南町上沢 81

函南町中央公民館 (TEL979-1733 FAX979-1744)

11月は静岡県子ども・若者育成支援強調月間です

静岡県では11月の青少年健全育成強調月間を平成22年度から静岡県子ども・若者育成支援強調月間と名称を改め、様々な活動を展開しています。

町でも、「函南町あいさつ運動」地域安全の日や「巡回劇場」「親子ふれあい映画会」「家庭教育関連講座」「夜間補導」などを開催し、青少年が心豊かで健やかに、そして伸び伸びと成長することを願って、家庭並びに地域の教育力向上を目指しています。

青少年の健全育成に対しては、家庭でのしつけや教育が大事なのももちろんですが、地域の大人たちからも積極的に声を掛けていたいただきたいと考えています。

「子どもは地域の宝」、地域ぐるみで愛情を持ち、暖かな眼差しで子どもの成長を見守っていききたいものです。

家庭・地域・学校で連携を図り、地域の子どもは地域で育てていきましょう。

青少年の地域活動への参加

夏から秋にかけて町内各地で防災訓練、体育大会、学校での交流活動など様々な活動が行われました。参加した小学生の感想を紹介します。

「地区防災訓練」

私は人工呼吸や心臓マッサージをやっているのを見て、大変だなあと思いました。それに倒れている人は舌であごがふさがれているので、あごを上げてあげないといけないことも知りませんでした。とてもいい勉強になりました。

(丹那小4年 女子)

消火器を使った訓練は、とても力が必要だったけど、いざという時に役に立ってたらいいなと思います。

た。避難経路の確認は地震がきた時に備えて、いい経験になりました。

(丹那小5年 男子)

「運動会」

せんせい、あのね。きのう、うんどうかいで、ゆうしようしてうれしかったです。たまいいましたのしかったです。

(丹那小1年 男子)

「廃品回収」

ぼくは8月8日、午前8時から廃品回収の手伝いをしました。

はじめにぼくの通りを行おうとした時、いつもより多かったのでお母さんとやりました。でもその量はとんでもなく、なかなか終わりませんでした。でも少しずつ量が減ってきて、とうとう全部が終わりました。高島さんに「次の通りをやってくれ」と言われて、

(まだやるの)と言う気持ちになっちゃいました。が、頑張っちゃいました。

次の廃品回収も頑張りたいです。

(西小5年 兼久能弥)

夏休みの始めの日、ぼくは子ども会の廃品回収をしました。

三人ずつ軽トラに乗り、区内の一部を回り、新聞やあきかんなどを集めました。やっていくうちに汗がダラダラと出てきました。

しかも途中でダンボールを道路に2、3枚落としてしまうなどトラブルもけっこうありました。そしてなんとかが終わり、最後に飲み物ももらい帰りました。区内も少しきれいになって良かったと思いました。

(西小5年 宮崎海翔)

「集会所のそうじ」

私はラジオ体操最後の日に、日守の集会所のそうじをしました。始めにみんなとラジオ体操をして、リーダーにハンコを押してもらって次に、みんなで日守

の集会所中をそうじしました。1、2、3年生はたみのそうじで、4、5、6年生は窓ふきなので、私は4年生の友達と窓ふきをしました。すみからすみまでふいて、高い所はジャンプをしてふいたり、大人の人たちがふいてくれたりして、15分ほどやりました。「疲れた」と思っていたら、会長さんが「みんな集まって」と言ったので、わたしはそこに行ったら、ノートとペンをくれました。最後にジューズをくれました。ジューズは私が好きなジューズだったのでうれしかったです。

来年もがんばりたいです
(西小5年 成川歩美)

「祭りのシャギリ準備」

ぼくは14日に三島大社夏祭りのシャギリの準備をしに行きました。初めに赤白のテープをもらってパイプに赤白のテープをまく説明を聞きました。次にセロハンテープとはさみももらっ

て、パイプに赤白のテープをまきつけました。ぼくは、まく係じゃなかったのにセロハンテープを持ってきている人にテープを付けていました。時間があいた時、大社の中を少し回ってみました。最後にとりの後ろに横断幕をつけて看板をかけてジューズをもらって少し休んで帰りました。

楽しかったけど少し疲れました。
(西小5年 杉山清宏)

函南町あいさつ運動が実施されました

11月5日(金)に「函南町あいさつ運動」地域安全の日」が実施されました。早朝から元気なあいさつが交わされていました。地域の皆さんのご理解ご協力により「函南町あいさつ運動」地域安全の日」も地域に浸透してきました。また、4月・7月にも「函南町あいさつ運動」地域安全の日」を実施し、

年3回のあいさつ運動を実施することができました。皆さんのご参加ご協力、本当にありがとうございます。



▲西小学校学区 学校付近でのあいさつ運動の様子

通学合宿

県教育委員会では、平成22年度も、地域の宿泊可能な施設を拠点に3学年以上(異年齢集団)の子どもたちが共同生活をしながら登下校をする「地域における通学合宿推進事業」を展開しています。

社会環境の変化によって、子どもたちは責任感や協調性、規範意識などが欠如し、社会集団の中で、自己を律しながら生きる力が

欠けていると言われています。また、地域社会でも都市化や核家族化が進み地域の連帯感が希薄化し、地域の教育力が低下してきていると言われています。

そこで、この事業を行うことで、異年齢の子どもたちが集団で共同生活をするにより、お互いの立場を理解し協力し合う心を育み、携わった大人たちが、ボランティア活動を通じて新たな地域コミュニティを創出し、地域での子育て支援体制の整備を促進することができのではないかと考えています。

函南町では、平成22年度、桑村小の小学校区で通学合宿が実施されました。



▲通学合宿の拠点・桑原区公民館前参加児童たち

思春期子育て講座

地域の大人として思春期の子どもたちの支えになり、ともに歩いていくための講演会。思春期の子どもたちに地域社会として接し、支えていきませんか。参加料無料、申し込み不要です。

日時／12月12日(日)10時～11時30分

場所／函南町中央公民館 多目的ホール

講師／佐々木正美(川崎医療福祉大学教授)

内容／「思春期を迎える子どもを理解するために②」～発達障害児の特性とその理解～